



2025年2月14日

各位

会社名 株式会社オプティマスグループ
代表者名 代表取締役社長 山中 信哉
(コード：9268 東証スタンダード市場)
問合せ先 総務・IRユニット長 足立 敢
(TEL：03-6370-9268)

2025年3月期 連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2024年11月14日に公表いたしました「2025年3月期 連結業績予想及び配当予想の修正（減配）に関するお知らせ」について、下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2025年3月期 連結業績予想(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 296,000	百万円 9,400	百万円 5,600	百万円 3,000	45円57銭
今回発表予想(B)	275,000	7,800	3,200	1,070	16円25銭
増減額(B-A)	△21,000	△1,600	△2,400	△1,930	—
増減率(%)	△7.1%	△17.0%	△42.9%	△64.3%	—
(ご参考)前期実績	123,934	6,889	5,235	2,854	50円89銭

2. 連結業績予想修正の理由

当社事業の主力市場であるニュージーランドでは、景気軟調な状況下、現政権による規制緩和策の影響が重なり、多くのディーラーが在庫消化を進めた当年度上半期において需要低減が見られたものの、下期初旬には底を打ったとみておりました。依然、市場の需要は、回復途上にはあるとみておりますが、その進捗は2024年11月の業績予想修正時の想定以上に緩慢であり、年間の中古車輸入数量は完全ロックダウンを経験したコロナ禍初年度の低水準を更に下回る様相を呈しています。

また、戦略的成長市場であるオーストラリアにおいて、中長期な新車需要の増加傾向に大きな変化はないものの、ポストコロナ禍において世界的に新車生産が通常化したことで流通在庫が増

加しており、これに伴いディーラーのビジネスモデルでもある在庫金利の負担と関連経費負担が増加し、ディーラー収益の圧迫要因となっています。

以上のような市場環境を踏まえ、2024年11月に開示させて頂いた計画について、再度、見極めを行いました。その結果、売上高 2,750 億円（前回公表比 7.1%減）、営業利益 78 億円（同 17.0%減）、経常利益 32 億円（同 42.9%減）、親会社株主に属する当期純利益 10 億 7 千万円（同 64.3%減）となる見込みでありますことから「2025年3月期の連結業績予想」を修正いたします。

また、剰余金の配当につきましては、日頃よりご支援頂いております株主の皆様への還元を重視し、連結配当性向の従前からの目安（30%程度）を大きく上回ることはなりましたが、2024年11月に修正させて頂いた期末配当予想 10 円、年間配当合計 18 円を維持させていただきます。

当社グループは、昨年度来、着実に収益基盤を拡大しており、その強化を図りつつ更なる成長を期して参ります。株主の皆様におかれましては、何卒ご理解の上、引き続き、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

（注）上記の市場予想、連結業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断並びに予想したものであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上